

カンタンDIYで、お部屋を大変身させましょう！

ふすまのはり方ガイド

ふすまの特長は、貼り替えられること。
好みのデザインのふすま紙やクロスに貼り替えて、
あなた自身の手で好みのお部屋に。

谷元フスマ工飾株式会社



はり替える前に、おうちのふすまの種類を確認しましょう。

ふすまの面を押してみてください…



少しくぼむのが本ふすま
引手を外したら
2ページから
読み進めてください。



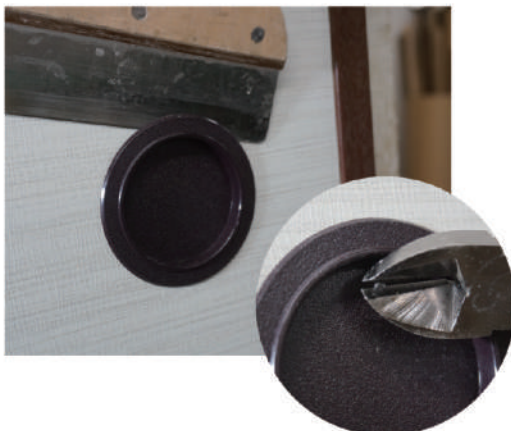
くぼまないのが軽量ふすま
引手を外したら、
6ページから
読み進めてください。



準備するもの

- | | |
|------------|----------------|
| ① マスキングテープ | ⑪ 金づち |
| ② ポンチ | ⑫ バール |
| ③ 鉛筆 | ⑬ のり用ハケ |
| ④ カッター | ⑭ 水用ハケ※和ふすまのみ |
| ⑤ ニッパー | ⑮ なでハケ※軽量ふすまのみ |
| ⑥ ドライバー | ⑯ 地べら |
| ⑦ ハサミ | |
| ⑧ 竹べら | |
| ⑨ ポンド | |
| ⑩ のり | |

引手を外す



0 引手を外す

地べらをふすま本体と引手の間に差し込み、引手に沿って一周させます。

その後、差し込んだ地べらを手前に倒してやさしく引きはがします。

※引手に小さな釘が打ってある場合は、クギの頭が少し出たらニッパーで取り外してから引手本体を外してください。

和ふすまを 張り替える

何度でも張り替えられるように作られた、伝統的な製法で作られたふすまです。

ふすまの面全体にのりは塗らず、辺に塗っているため、張り替えの際に紙を剥がしやすいのが特徴です。

面を少し押すと、格子状に組まれた骨組みが感じられます。

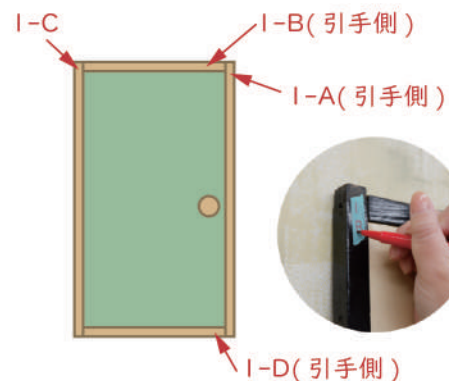
それぞれのパーツを外す

1 ふすまと縁の角に番号をふる

左図のように、一方のふすまをひっくり返し、引手の位置を左に合わせ、右の図のように縁の角に番号をふっていきます。

縁に直接書きたくない場合はマスキングテープを使いましょう。

ふすま毎の番号 ①-A 取り付ける部分の識別



2 短辺の縁を外す

短辺（ふすまの上下の縁）とふすま本体の間にバールを軽く差し込み、かなづちをバールに優しく当てて縁を外していきます。

※かなづちを強く当ててしまうと縁やふすま本体が傷ついてしまうので、注意してください。

3 長辺の縁を外す

・縁の外側にクギが刺してある場合

縁をふすまの外側に向けて、縁が折れないよう上下側ともバランスよく叩き、縁を外します。



・縁の外側にクギが見えない場合

ふすまの上辺側からかなづちで縁を1cm～2cmほど叩き、縁を外していきます。



縁を外すと、くぎかビスが出てくるので、ふすま本体を傷つけないように取り除きます。

※クギはペンチかニッパーを、ビスはドライバーを使って外してください。

ふすま紙の準備



4 古いふすま紙をはがす

古いふすま紙をはがします。

もしはがしづらい場合は、カッターで少し切れ込みを入れ、下地とふすま紙の間に刃を差し込み、ふすまの辺に沿って切っていきます。

このとき、下地の紙まで切ってしまうないように、力加減にご注意ください。

※もし下地に穴があいている場合は、新聞紙などで穴をふさぎます。

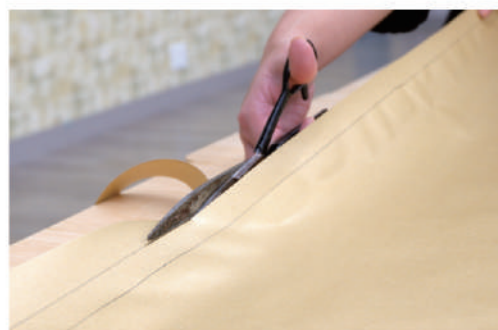
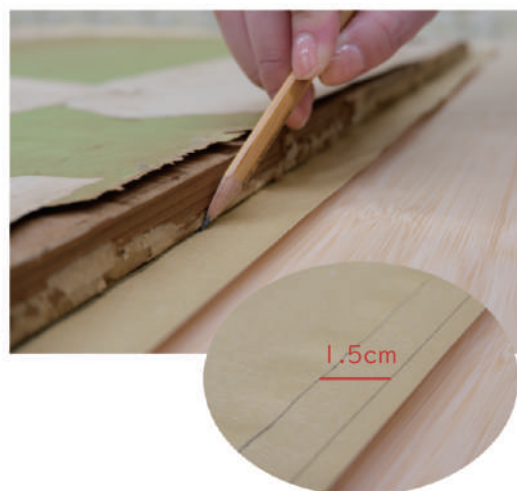
※辺の紙残りが気になる場合はカッターで削いでください。



5 ふすまの型をとる

平らな台か床に、新しく張るふすま紙を裏面を上にして置きます。その上にふすまを置き、型を取っていきます。型が取れたら、その1.5～2cm程度外側に、同じように鉛筆で線を引きます。

※柄や模様などのあるふすま紙の場合、上下やパターンの出方に気をつけましょう。



6 新しいふすま紙を切り出す

先ほど型をとったふすまを、張り作業のしやすい壁に立てかけておきます。

先ほど引いた外側の線に沿ってたちばさみで紙を切り出します。

ふすま紙を張る

7 ふすま紙に水を含ませる

先ほど切り出したふすま紙の裏面に、水を含ませた水用ハケで紙全体に塗ります。

※濡らすことで紙が膨張し乾くと縮むため、ふすま紙がピンと張りきれいな仕上がりになります。



外周と四隅にのりをつける

8 ふすま本体にのりを塗る

のりを含ませたのり用ハケで、ふすまの外周の上辺・右辺・左辺部分にのりを塗ります。

のりの塗りムラがないよう、反対の手の指でハケを追いかけるようにしてのりを伸ばします。

表面の四隅にも少しのりをつけておきます。(角のしわ防止のため)



9 ふすま紙を張る

ふすま紙に引いた上辺の内側の線とふすまの上辺を合わせます。

指先で軽くつまみ、線に沿って折りグセをつけたら、左右の辺の下から上に向けて写真のように角に沿ってつまむように紙を張っていきます。

※紙を左右それぞれ引っ張る様に張ると仕上がりがきれいです。



10 ふすま紙を整える

3 辺にふすま紙を張れたら、両手のひらを使ってそれぞれの角を引っ張るようにふすま紙を押さえ、ピンと張ります。

※手のひらの親指つけ根の肉が厚い部分を使います。

ふすまを回転させ、下辺ものりをつけ同様に張ります。

各パーツ取り付け



11 短辺の縁を取り付ける

角の余った紙をつまみ、切り落とします。
ふすま本体の角と縁の番号を合わせます。

でっぱり部分を除いた縁の端と、ふすま本体の短辺の端を揃えて、左端・中央・右端の3ヶ所にクギを打ちます。
下側のくぎは、ふすまを引く際に傷がつかないように、ポンチを当ててさらに打ち込みます。



12 長辺の縁を取り付ける

長辺もふすま本体の角と縁の番号を合わせます。
短辺の縁のでっぱりを長辺の縁の溝にはめこみ、ふすま本体と縁の高さをそろえて、左端・中央・右端・左端と中央の間・中央と右端の間の5か所にクギを打ちます。

反対側も同様に縁を取り付けます。



13 引手をつける

縁を取り付けたら風通しのいい場所でのりを乾かします。
のりが乾いたら引手がついていた位置を優しく触れて確認し、カッターで穴を開けます。

穴が開いたら引手の穴部分に引手をはめこみ、ポンチを使って上下に釘を打ったら完成です！



軽量ふすまを 貼り替える

下地作りの工程をより簡単に、スピーディにするために作られたふすまです。2～3回程度貼り替えられます。芯材には発泡プラスチックや段ボール芯、ペーパーコア芯などが使われています。面を軽く押してもへこみがありません。

ふすま紙を切り出す

1 ふすまの型をとる

平らな台か床に、新しく張るふすま紙を裏面を上にして置きます。その上にふすまを置き、型を取っていきます。

※柄や模様などのあるふすま紙の場合、上下やパターンの出方に気をつけましょう。



2 新しいふすま紙を切り出す

先ほど型をとったふすまを、張り作業のしやすい壁に立てかけておきます。

先ほど引いた外側の線に沿ってたちばさみで紙を切り出します。



3 ふすま紙にのりを塗る

のり 1 : 水 2 の割合で薄め、切り出した襖紙の裏面全体に、のり用ハケを使ってのりを塗っていきます。



ふすま紙を貼る



4 ふすま紙の下辺を巻く

紙を貼る際に床のホコリなどがつかないように、のりを塗ったふすま紙の床側の端を写真のように巻きます。

※表面にのりがかからないように注意しましょう。

5 ふすま紙を貼る

先ほど型をとったふすまを、貼り作業のしやすい壁に立てかけておきます。

先ほど引いた外側の線に沿ってふすま紙を貼ります。

※柄や模様などのあるふすま紙の場合、上下やパターンの出方に気をつけましょう。



6 なでばけで空気を抜く

なでばけを使って、写真のように中央から外側に向けてふすま紙と下地の間に入ってしまった空気を抜いていきます。



仕上げの作業



7 不要な部分を切り落とす

全体の空気が抜けたら、縁の内側に沿って竹べらで端を切るための型をつけていきます。

縁の内側に地ペラを当て、カッターで不要な部分を切り落とします。

※カッターの切れ味が悪いと紙が破けやすいので、刃先を折り常に良い切れ味を保つように心がけましょう。

8 引手をつける

紙が乾いたら引手の穴を切り抜き、図のように引手の裏側の周囲にボンドを塗り、穴にはめ込みます。

※紙が乾かないうちに紙を切ってしまうと、せっかく貼った紙がヨレたり破れてしまうので注意してください。



9 汚れを拭き取る

縁やふすま紙などにのりの汚れがついてしまった場合は、水を少し含ませたスポンジでやさしく拭き取りましょう。

完成です！！

谷元フスマ工飾株式会社

本社：〒581-0815 大阪府八尾市宮町4丁目1-15

第二工場・ショールーム：〒581-0801 大阪府八尾市山城町5丁目5-30

東京営業所：〒143-0023 東京都大田区山王2丁目17-9 サンシティ山王II4階

TEL: 072-998-8661 (本社) / 03-6404-6683 (東京営業所)

e-mail: info@t-f-kosyoku.com

